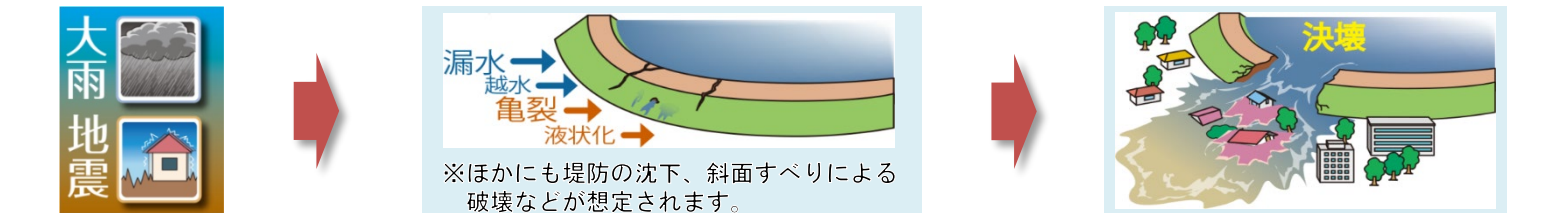


□
 ため池の決壊要因と災害事例
 （大雨のときや地震のあとは注意しましょう。）

ため池の堤防は日頃から安全管理を行っていますが、施設の耐用能力を超える大雨や地震の発生によって損傷を受ける場合があります。大雨のときや地震のあとは、ため池の決壊に注意が必要です。



大雨
兵庫県

災害事例

地震
福島県

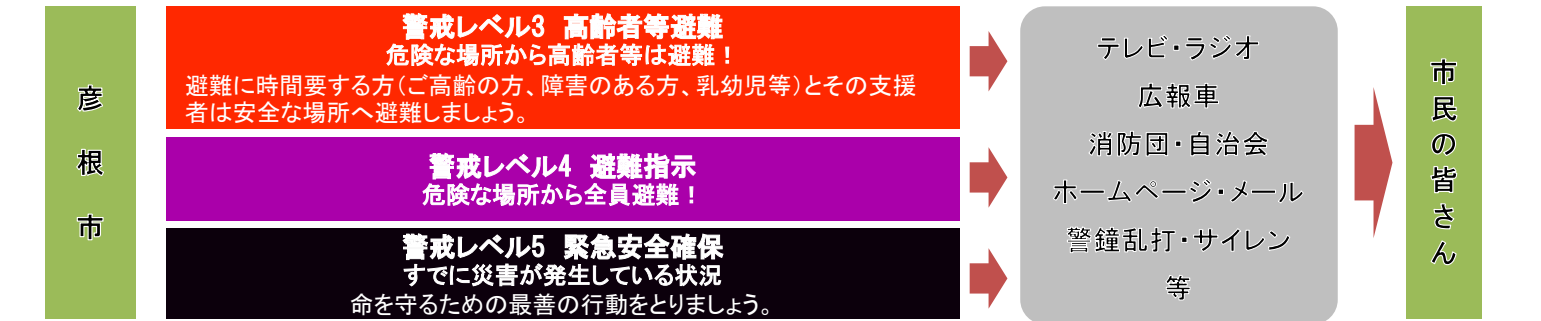
平成 16 年の台風 23 号では、大雨により、兵庫県の淡路島で約 1,300 か所のため池が被災し、約 180 か所のため池が決壊しました。同県洲本市では、ため池決壊による河川増水により 2 名の犠牲者が出る被害となりました。

平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災では、地震により、福島県内では約 750 か所のため池が被災しました。また、同県須賀川市で藤沼湖が決壊し、死者・行方不明者 8 名の犠牲者が出る被害となりました。

□
 防災情報の収集先
 （避難に備え早めの情報収集をしましょう。）

情 報 源	情報の種類	ウェブサイトアドレスなど
彦根市ホームページ	避難情報などの緊急情報	トップページ https://www.city.hikone.lg.jp/ に「緊急情報」を表示し、避難情報などの緊急情報をお知らせします。
彦根市メール配信システム	災害・火災情報等の安心・安全情報をメール配信	https://www.city.hikone.lg.jp/kurashi/bosai/3/6/5722.html であらかじめ登録
彦根市の公式スマートフォンアプリ「ひこまち」	避難情報などの緊急情報	https://www.city.hikone.lg.jp/kakuka/kikakushinko/10/4/2/3/2/4949.html にアクセスし、「App Store」または「Google Play」からダウンロード
スマートフォンアプリ「Yahoo!防災速報」	避難情報などの緊急情報	https://www.city.hikone.lg.jp/kakuka/shicho_chokkatsu/3/8/4941.html 「App Store」または「Google Play」からダウンロード
彦根市災害用ツイッター	避難情報などの緊急情報	彦根市防災@bousai_hikone 詳細は、 https://www.city.hikone.lg.jp/kakuka/shicho_chokkatsu/3/6/2715.html 
滋賀県防災ポータル	県内の防災関連情報や関連サイトなど	 https://dis-shiga.jp/pc/topdis-shiga.html
滋賀県土木防災情報システム	県内の気象情報や注意報・警報の発表状況など	https://shiga-bousai.jp/index.php （携帯サイト） http://shiga-bousai.jp/mobile/ （スマートフォンサイト） https://shiga-bousai.jp/sp/
リアルタイム川の防災情報	全国の雨量情報や水防警報など	https://www.river.go.jp/portal/#80
気象庁	全国の気象情報や地震情報など	https://www.jma.go.jp/jma/index.html
その他、テレビ（NHKデータ放送）、ラジオ（エフエムひこね 78.2MHz）、同報系屋外放送設備 など		

□
 彦根市から呼びかける避難情報
 （危険が迫った場合は早めに避難しましょう。）



気象状況などにより避難情報が聞こえない場合や、伝達が間に合わない場合もありますので、身の危険を感じたら早めに避難して下さい。

【ため池ハザードマップに関するご意見・ご質問は】
彦根市 産業部 農林水産課
〒522-8501 滋賀県彦根市元町4番2号
TEL 0749-22-1411（代）
ホームページ
<https://www.city.hikone.lg.jp/>

保存版

彦根市

ため池ハザードマップ

おくのたに いけ

奥ノ谷池（笹尾町）

作成：令和3年3月

この「ため池ハザードマップ」は、奥ノ谷池が決壊した場合に想定される浸水区域や水深、および避難に役立つ情報を取りまとめたものです。ため池が決壊するおそれのある場合または決壊した場合に、迅速かつ安全に避難するために役立ててください。

奥ノ谷池の大きさと貯水量

堤 長 ： 17m
堤 高 ： 2.2m
貯水量 ： 3,000m³



ため池災害は次の特徴があります。

- 地震時は決壊の予兆がわからない場合があります。
- 決壊すると大量の水が短時間で押し寄せる可能性があります。
- ため池の下流では大きな被害になることもあります。

【奥ノ谷池の現状】

この池は、農業用水を確保することを目的として、谷をせき止めて築造されました。しかし、近年では施設の老朽化もみられ、施設の耐用能力を超える大雨や大規模な地震が発生した場合、堤防が損傷を受け決壊に至る可能性もあります。万が一ため池が決壊した場合、池の下流には一度に大量の水が短時間で押し寄せる可能性があります。

□
 ため池ハザードマップの活用方法
 （急な事態へ備えましょう）

【1】想定される浸水区域や深さなどをチェックしましょう。

- ・自分や家族などの居場所と、浸水深やはん監水の到達時間を確認しましょう。
- ・緊急時にも地図を確認できるよう、居住場所には印をつけておきましょう。



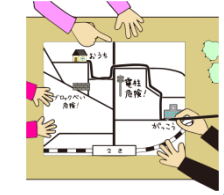
【2】避難場所を決めておきましょう。

- ・浸水深やはん監水の到達時間より、どこへ避難するかを決めておきましょう。
- ・屋外に出ることがかえって危険な場合は、自宅の2階へ避難（垂直避難）しましょう。



【3】避難場所までの避難経路を考えましょう。

- ・避難場所まで実際に歩いて、移動時間を確認しておきましょう。
- ・避難途中で浸水した場合に緊急避難できる場所を探しておきましょう。



【4】日頃から家族や地域で話し合いましょう。

- ・災害時に協力し合えるよう、日頃から家族や地域で役割などを話し合いましょう。
- ・避難行動要支援者への情報伝達や補助内容を決めておきましょう。



【5】防災情報の入手先を確認しておきましょう。

- ・ため池の堤防が被災すると、短時間で決壊に至る可能性がありますので、日頃から防災情報がどこで入手できるかを確認しておきましょう。



【6】市の公表している他のハザードマップもご覧ください。

- ・彦根市水害ハザードマップ（統合版）および地先の安全度マップには、大雨に伴う河川のはん監や、その避難に関する情報を記載しています。

